

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

推進校実施報告書

- 1 学校名：滋賀県立新旭養護学校
- 2 実施日時：2018（平成30）年11月5日（月）10:30-11:40
- 3 対象：高等部生徒9名および太田区民の方7名
- 4 実践形態：地域住民との交流会

5 授業内容：

2018（平成30）年11月5日（月）に、滋賀県立新旭養護学校にて、卓球バレーを通じた高等部生徒9名と地域住民の方との交流会が行われました。当日は、7名の高島市新旭町太田区民の方々が参加され、充実した交流会となりました。

新旭養護学校では、3年前にはフライングディスク、2年前にはグランドゴルフで地域との交流会を実施したことがあるとのこと。今年度は、卓球バレーを用いた取り組みを行っていました。

卓球バレーは、卓球台を用いて、ネットを挟んだ2チーム（1チーム6名）が椅子に座ってボールを転がし、相手コートに3打以内で返球するゲームです。使用するボールは、視覚障害者卓球で用いられる金属球入りの卓球ボールで、ラケットには縦横30cm以内の大きさの木製の板が用いられます。ボールは必ずネットの下を通さなくてはならず、プレイが簡単であるため、障害の有無、種類や度合いに関わらず、楽しくゲームに参加できることが特徴です。今回の実践では、1チーム4名の4チームが編成され、時間制でゲームが行われました。また、生徒の実態に合わせ、3球以内での返球に限定せず、パスは何回でも繋いでよいこととし、交互にサーブを行うというルールを取り入れて実施しました。

交流会のはじめには、自己紹介の時間が設けられました。名前や学年に加え、好きな食べ物を紹介しあい、場は和やかな雰囲気となりました。次に、チーム編成が行われ、それぞれがチーム名を決めました。4つのチーム名はそれぞれ、「チョモランマチーム」、「電車でGOチーム」、「スイカチーム」、「ソフトバンクチーム」で、チーム名を決めたことで、チームとしての一体感が出た様子でした。その後、チーム練習を5分程度行い、4チームの総当たり戦のゲームが展開されました。

生徒達はこれまでも数回実施したことがある一方で、参加された地域の方々は、初めて卓球バレーを行うという方ばかりでした。しかし、参加者の皆さんもすぐにコツをつかんで、楽しくゲームに参加している様子でした。はじめは、ボールを打つ力加減が難しく、ネットの上を越えてしまったり、アンテナの外側にボールが転がってしまうといった様子も見受けられましたが、慣れてくると、ボールも速くなり、緩急のあるプレイもみられるようになっていました。加えて、チーム内でパスをするときには、声を掛け合う様子もみられました。相手チームのプレイヤーの間をつくボールでの得点等には、歓声も上がり、盛り上がりのあるゲームが展開されていました。ゲームを見ている周囲の先生方からも、大きな声援や歓声があがっていました。

授業の最後には、代表生徒から「少し緊張したけれど、よくプレイできました」という感想が述べられ、また、地域住民の代表者からも、「非常に楽しいひとときを過ごせて嬉しく思っています。また、今後もこのような機

会を楽しみにしています」との感想が話されました。

障害の程度が重く、ラケットの操作に困難がみられる生徒のポジションには木の棒が置かれ、ボールがアウトになりにくい配慮がなされていました。また、生徒の実態に合わせ、ラケットの持ち手部分が握りやすいような工夫も施されていました。

今回の実践では、誰でも楽しむことができるスポーツを活用することで、生徒と地域住民の交流がより一層促されていました。会のはじめには、校長先生からも、「交流会を楽しんで頂いた上で、今後地域でも卓球バレーをやってみたいというご要望があれば、卓球台をお貸しすることも可能ですので、是非ご連絡下さい」とのお話がありました。地域の方々との今後の交流にもつながる実践となっていました。

7 授業の様子



【 用いた用具 】



【 自己紹介の様子 】



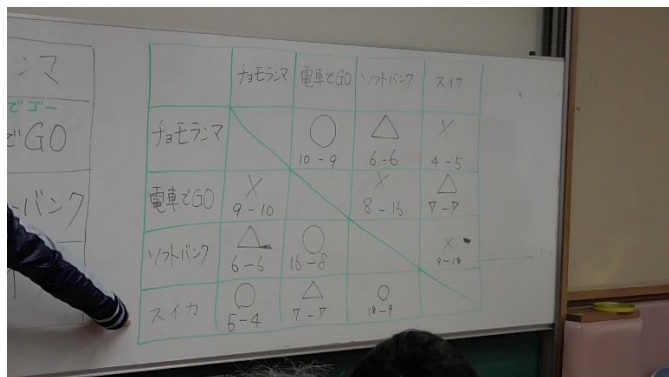
【 チーム名を考える様子 】



【 ゲームの様子① 】



【 ゲームの様子② 】



	チヨモニア	電卓GO	ノットバンク	スイカ
チヨモニア		○ 10-9	△ 6-6	× 4-5
電卓GO	× 9-10		× 8-16	△ 7-7
ノットバンク	△ 6-6	○ 16-8		× 9-10
スイカ	○ 5-4	△ 7-7	○ 10-9	

【 ゲームの得点表 】